

ことばの学び

「思考の方法」を
活用する



ESSAY

ただ吐き出した言葉じゃなしに 伊沢拓司

特集

「思考の方法」を活用する

- 問いを出発点にして思考を深める 河野智文
- 主体的に思考し続けるようになるために 高瀬裕人

授業アイデア

「俺」はつまりどんな人物か

～思考の方法「抽象化する」を活用して人物像を捉える（「坊っちゃん」）～ 池田有紀子

Number

19

ただ吐き出した言葉じゃなしに

伊沢拓司

ビートルズの『イン・マイ・ライフ』が流れた。大阪のタクシーは東京に比べるとだいぶ自由だ。おそらくは運転手さん自選のオリジナルCDなのだろう、さつきまでは知らないジャズがかかっていたから。夜の街明かりに、柔らかなバラードがびったりだった。はじめて会った運転手さんとふたり、このムードを楽しんでいる。無言の空間、なんの合意もない。それでも、素敵な空気を共有している気がした。ここでこの曲を流すなんて、素晴らしいこだわりじゃないか。

シェアすることは楽しい。相手と通じ合う安心感と優越感は無二だろう。とはいえ、良き時に良き曲がかかるような偶然は稀だから、我々の共感の多くは言葉で作られる。何かを伝えるのも、理解するのも、たいていは言葉を通してである。

それでも、忘れてはいけない。伝えたいのはあくまで意思であって、言葉そのものではない、ということ。言葉はあくまで、意思を伝える道具に過ぎない。

言葉ばかり並べても意思が伝わらないこと

はままある。あるコピーライティングの賞で審査員をしたときのこと。「こんな時代に暗記がしたくなるコピー」を募集した。インターネットの発達した現代にあって暗記の意義とは何だ、というテーマである。たくさん佳作と、それ以上に大量の凡作が集まった。全体の9割は即決でボツにしたのだが、それらの多くには共通点があった。

自分の言葉に、甘いのだ。

教養、天才、バカ、AI……知識を語る上での頻出の、でも意味するところが曖昧な単語たち。そういった言葉を自分の見だけで雑に扱った作品が、山ほどあった。「暗記は教養にはならないが武器にはなる」「AIに負けない自分へ」。なぜ教養と暗記は別なのなんだ？ なぜAIは戦いの対象なんだ？ 自分の思った通りの意味で相手に伝わるという甘い考えが、言葉の空回りを生んでいた。同じ言葉を聞いても、イメージするものは人それぞれだ。辞書的な意味とは別に、感じ方が分かれる言葉はいくつもあつた。それを自覚して扱わないと、伝えたい意思を届けては

くれない。言葉に対する考え方の違いに無頓着なままでは、伝えた「つもり」に過ぎないのだ。

言葉を吐き出すのは簡単だが、言葉で伝えるのは難しい。ひとつひとつの言葉に、相手の感じ方に、実直な眼差しを向けること。その先にこそ、共有の喜びはある。

「イン・マイ・ライフ、びったりの選曲ですね」と運転手さんに告げた。キョトンとした顔。「あ、これ、お客さんからもらったCDで」。何かを共有することは、やはりとても難しい。

Profile

いざわたくし

1994年生まれ。東京大学経済学部卒業。2016年に東大発の知識集団・QuizKnockを立ち上げ、現在YouTubeチャンネルは登録者数210万人を突破。『東大王』などのテレビ番組にレギュラー出演するほか、学校訪問プロジェクト「QK GO」を行うなど、幅広く活動中。



特集

「思考の方法」を活用する

問いを出発点にして 思考を深める

福岡教育大学教授 河野智文

「チャンスは準備された心にも降り立つ」

——パスツール

目の前のものをチャンスと捉えられるか否かは、こちらの心次第。こちらの心が「準備」されていれば、何のおもしろさも感じられないようなものでも、見方が変わり、不思議に思われ、その先を知りたくなる。そのような見方の変化を与えるきっかけの一つが問いだ。しかし、一人で何度見直しても、なかなか問いは浮かばない。他者（教師や友達）の問いが刺激になる。

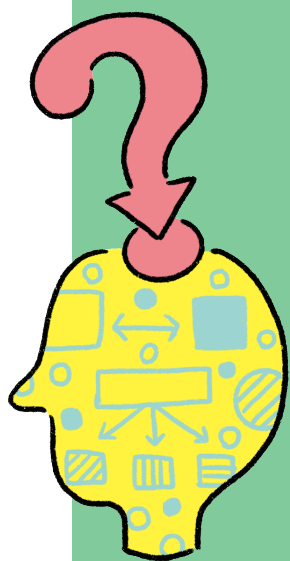
問いは、切り込みや掘り下げのポイントを示す。そこに刃を立てるときれいにむける、そこから降りると深奥に達する。初めは達人たる教師から与えられ（それが発問や学習課題である）、しだいに内面化される、つまり自問できるようになる。最初からよい問いは

作れない。自分が作った問いよりも、他から与えられた鋭い問いの方が、楽しく考えられることもある。

問いが立てば解き明かしたくなる、と樂觀してはいけない。テツ氏とトモ氏の「なんでだろう」はおもしろいが、答えを知りたいとは必ずしも思わない。「地下鉄の電車はどこから……」と問うた三球氏も、眠れなくなるだけで、調べてみようとはしない。解決のための思考の方法が問いとセットになることで、「できそうだ」と、追究意欲が生まれる。

「比較」「仮定」のように示される思考の方法は、汎用性を持ち、さまざまな場面で活用できる。方法を共有すると、協働的に進めやすくなる。一方で、具体的な問いには容易にフィットしない。教師の支援や友達との試行錯誤が必要だ。思考ツールを用いて可視化することは、共有にも、批判的検討（偏りはないか、など）にも、自己調整にも有効だ。

繰り返し問い、考えを共有することで、見方はより豊かになる。しかし最も問われるべ



きは自分自身であり、それゆえに批判的思考を駆使できる人には謙虚さが備わる。

実社会では、積極的に問う人が煙たがられることもある。教室でそんな思いをさせないように、また、社会に出ても問うことや議論することを大切にしていこうように、問いを出発点にして楽しく有意義な議論ができたとき実感させることを積み重ねたい。

対象の見方を深めるだけではなく、「自分の表現をもっとよいものになりたい、そのためには？」のような、学習活動や目標をよりよいものにするための問いもあることを付け加えておきたい。

Profile

かわのともふみ

福岡教育大学教授（教育学部国語教育研究ユニット）。兵庫教育大学助手等を経て現職。国語教育学専攻。大学で国語科教育や教育実習に関する科目を担当しつつ、教育センター等の研修や附属学校等との共同研究にも携わっている。学生や児童生徒、先生がたの明るく前向きな姿にいつも励まされている。



主体的に思考し続けるようになるために

琉球大学准教授 高瀬裕人

何のための「思考の方法」 「思考ツール」？

「考えてみましょう。」

このように投げかけられて困る人は多いのではないだろうか。「どのように考えるといいか」が見えないからでしょう。こうした見えないものに名前をつけ、形を与えてくれるのが、「思考の方法」や「思考ツール」です。これらをうまく活用できれば、生徒が考えるときに、何をしているかわからない、何をしたらいいかわからないという困った状況に陥るのを避けることができます。

令和3年度版『現代の国語』では、考えを深め、確かなものにするための方法として、「順序立てる」「比較する」など、九つの「思考の方法」を取り上げています。また、各教材の学習活動を進める手立てとなるように、「思考の方法」に基づいた「思考ツール」(図解)を適所に示しています。

国語の授業で「思考の方法」や「思考ツール」を活用する際には、「思考の方法」や「思

考ツール」を用いたことが学びの成果ではなく、使ったことで自分(たち)の思考が広がり深まったりしたことが学びの成果なのだということを共有しておくことが大切です。

「思考の方法」を使って考える

ここでは、二年の説明的文章教材「一〇〇年後の水を守る」(橋本淳司)を読む場合を例に考えてみたいと思います。

水ジャーナリストである筆者は、多角的に事例をあげながら「水問題」とその解決方法を論じています。その中で、「雨水利用」の場として家屋の屋根だけでなく、「森林や水田」も例にあげています。ここで、「仮定する」という「思考の方法」を使って考えてみましょう。「もし、森林や水田がなくなってしまうたら。」と仮定すると、「地下水が使えない。」「使える地下水が枯渇する。」といったことが推測されます。それは「森林や水田が地下水を育み蓄えている。」という根拠に支えられています。

このようなことを考えることで、屋根を賢く使った「雨水利用」だけでなく、「森林や水田」も「貴重な場」だとする筆者の水を「育む」という意味をより明確にすることができるよう。すなわち、「仮定する」という「思考

の方法」を活用することが、筆者のメッセージを深く理解することにつながるのです。

思考を可視化する「思考ツール」

「思考の方法」だけでは、生徒はうまく考えを整理したり深めたり、他者に伝えたりすることが難しいかもしれません。生徒からすれば、自分や仲間の「思考」の状況や道筋、それらの共通点や相違点が見えにくいからです。このとき、思考に一定の形を与え可視化してくれる「思考ツール」が有効になります。

ここで、二年の文学的文章教材「セミロングホームルーム」(戸森しるこ)を読む場合を例に考えてみたいと思います。

瀬尾くんの背中に一匹のセミが止まっているという緊迫した状況で物語は展開します。「もし、セミが止まったのが瀬尾くんではなかったら。」と仮定して考えるところでしょうか。おそらく物語の緊迫感も生まれないでしょうし、結末部分において、セミを逃がしたことで充実感を味わったり、その直後の瀬尾くんの「ありがとう。」の言葉に私とトリノがそれほど驚いたりすることもないでしょう。なぜなら、瀬尾くんは「セミをネタにできるようなタイプではない」し、「デリケート」な人物と見なされていて、私やトリノが「守ら

なければ」と思っている人物だからです。また、私やトリノだけでなく、黒岩先生も瀬尾くんをそのような人物として理解しているがゆえに、黒岩先生が教室の後ろに来たときに、ある種の結末感が生まれたのでしょう。このように、登場人物に関して「仮定する」という方法を活用して考えることで、読み手の中に人物設定や登場人物の関係性、それらの効果や意味について深い理解が生まれ、物語をより楽しめるようになります。

ただし、こうした思考ははじめから整理されているわけではありません。そこで、「思考ツール」を使って図解しながら考えるように促します。すると、生徒の思考にある形が与えられ、可視化されます。その際、はじめから全ての要素を書き出すことを求めるのではなく、どの要素は書き出したのか、また、書き出せなかったのかを明確にすることも大切です。『結果の予想』は推測できているが、『根拠』が曖昧だから



ら『根拠』を明確にしよう。」というように、生徒が自分の思考の状況を理解し、進むべき道筋を描きだすことにつながります。また、仲間と共有することで、「結果の予想」が異なるか、「根拠」が異なるかを明確にしたり、仲間の考えから学んで加筆修正したりすることもできます。このように、自分や他者の思考の状況を明確にして共有することは、生徒が自らより広く深く学び、理解を形づくっていくことにつながります。

生徒が主体的に 思考し続けるようになるために

教室において、「考えてみましょう。」と曖昧に指示するのではなく、「思考の方法」や「思考ツール」を活用するように誘うことで、生徒が主体的に問いをもち、広く深く考えていくこと、またそうした経験を通して多様な学びの喜びを味わうことが実現されていくはずです。これらを確実なものにするために、以下の二つに留意したいものです。

まずひとつ。もともと「思考の方法」は熟達者(実際に広く深く考えている人)の特徴

を分析し抽出したものです。そのため、機械的なドリル学習を繰り返しても身につけません。言葉を手がかりとして思考したり話し合ったりする実の場において効果的に学ばれていくものです。そうした必然性のある場を設け、そこで「思考の方法」や「思考ツール」を紹介し、使ってみるよう誘っていくことが大切です。

もうひとつ。「思考の方法」や「思考ツール」は、教師から紹介されたものを使ってみるところから始まるかもしれませんが、とはいえず、やがては生徒が自分で状況や場にに応じて適切なものを選び、使いこなせるようになってほしいものです。そのため、年間や三年間の国語科での学びを見通して、生徒がさまざまな「思考の方法」や「思考ツール」を使って、それを使った効果を振り返るという場を国語学習の中に適時適切に位置づけていくことが大切です。

Profile

たかせ ゆうじん

琉球大学教育学部准教授。博士(教育学)。専門は、国語教育学。特に読むこと、教育評価論。どのようにすれば教師と生徒が対話的な学習評価を通してより豊かで深い国語の学びを創造していくことができるかに関心がある。



授業アイデア

3年

「俺」はつまりどんな人物か

「思考の方法「抽象化する」を活用して人物像を捉える（「坊っちゃん」）」

高根沢町立阿久津中学校 池田有紀子

授業の流れ

《全5時間／本時は第2時》

導入

「坊っちゃん」のあらすじについて確認する。

展開1

「俺」の性格や人柄を表しているエピソードを本文から探し、抜き出す。

▼範囲は「清」との別れの場面の前まで。まず教室全体で探し、そのあと各自で探す。
例 小学校のとき、「弱虫やーい」とはやしたてられて、二階から飛び降りた。

展開2

エピソードを分類して整理し、「俺」はつまりどんな人物だといえるかについて考える。

① 展開1で抜き出したエピソードを分類し、「俺」の性格・人柄を書き出す。
▼考える糸口として、思考の方法「抽象化する」を使うことを伝える。

展開3

まとめた内容をペアやグループで共有し、それぞれが捉えた「俺」の人物像について、共通点や相違点を話し合う。

▼同じエピソードを取り上げても人物像の捉え方が違った場合に、「なぜ、そのような人物像だと考えたのか。」を話し合う。

まとめ

次時は「清」の作品内での役割を考えることを伝える。

○具体的なエピソードから共通すると考えられる性格や人柄をまとめることで、具体的な事柄を「抽象化する」という思考の方法を用い、登場人物の人物像について考えられた。

○同じエピソードを取り上げても、そのエピソードがどのような人物像を表したのかについての捉え方は生徒によって異なる。その相違点を起点に話し合いを行うことで、作品をどのように解釈したかが明らかになる。

○「清」や「清以外の人」と「俺」との関係性や、「俺」と「清」が別れる場面の「俺」の行動描写について読み深める学習活動においても、本時の学習内容を活用することで、「俺」の人物像について更に多面的に捉えることができる。

この授業について

ここでは、作品内で語られる具体的なエピソードが登場人物の特徴を表す役割を果たしていることに気づき、具体的なエピソードから捉えられる登場人物の人物像を自分の言葉でまとめることをねらいとした。単元の最後では、「俺」と「清」の別れの場面に着目し、「俺」の行動描写が、本時で捉える「俺」の人物像と、どのように合致しているかを批評する活動を行う。

評価規準 3年生

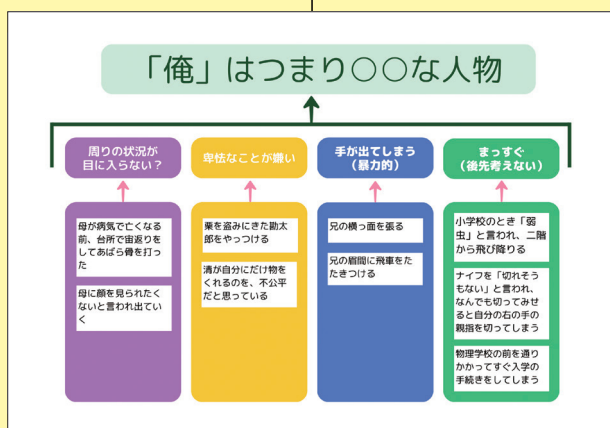
【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2ア)
【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(2エ)
【主体的に学習に取り組む態度】作品内で語られた具体的なエピソードから捉えられる登場人物の人物像について進んで考え、まとめようとしている。



ICT活用のヒント

アプリのホワイトボード機能を活用する

展開1でホワイトボードにエピソードを書き出し、展開2では書き出したエピソードを並べ替え、分類していく。



Canvaのホワイトボードを使った例。テンプレートが豊富に用意されていると、学習活動に合うものを選ぶことができる。

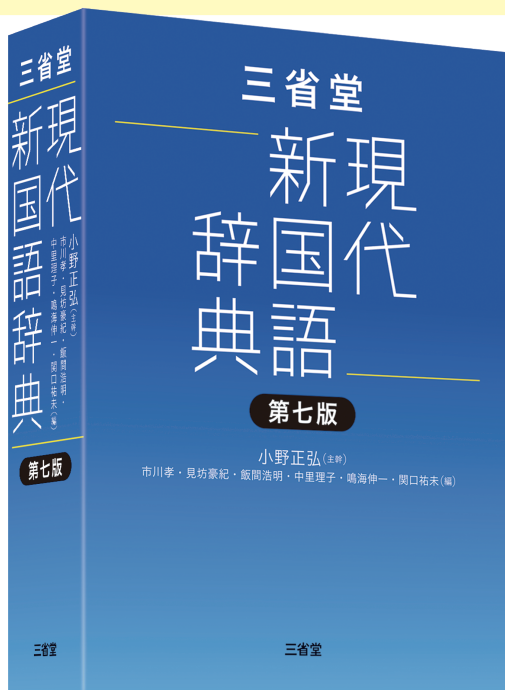
エピソードを分類して整理する中で、人物像とエピソードの捉え方について考えが変わったり、新しい考えが浮かんだりした際、簡単に書き直しや書き足しをすることができることが利点である。展開3では、ペアやグループで画面を共有しながら共通点や相違点について話し合うとよい。
アプリにあらかじめ思考ツールのテンプレートが入っている場合は、それを活用することも考えられる。

授業のまとめ

三省堂教科書・教材サイトでも、「授業アイデア」をご紹介します。



\\ 教科書密着型辞典の大改訂版 //

三省堂 現代新国語辞典
第七版

令和4・5年度より再編された現代文の新4科目に完全準拠。『現代の国語』『言語文化』『論理国語』『文学国語』の全社版を綿密調査し、本書にしか載っていない語句・語義を満載。延べ約3,000項目を追加し総収録語数78,500。

「走れメロス」「少年の日の思い出」「故郷」「高瀬舟」「トロコ」「坊っちゃん」などの難語や古風な語句も新たに採録し、中高一貫使用にも対応。

この辞書、スマホでも引けます。

購入者特典サービス
「辞書Webアプリ」 **ことまな+**

定価 3,300円（本体 3,000円＋税 10%）
B6判 / 1,792頁 / 978-4-385-14064-3

メロスはなぜ少女に赤面するのか
「テキスト分析」でつくる文学の授業

鈴木昌弘 著

「テキスト分析」は、優れた物語がもつ「空白」を、「問」という形で顕在化させる。テキストを根拠に「解」を求める過程こそ論理的思考である。「テキスト分析」の手法で、国語の授業を力強くサポートする。

定価 2,200円（本体 2,000円＋税 10%）
A5判 / 160頁 / 978-4-385-36518-3



三省堂教科書・教材サイトのご案内

ことまな学校サポートサイト

ことまな学校サポートサイト 🔍

……指導書・デジタル教科書（教材）等をご採用いただいている学校ごとの専用サイト

指導書などに付属する各種データに加え、追加の資料やワークシートなどのデータをダウンロードいただけるほか、デジタル教科書などの導入の方法の確認や、お問い合わせフォームもご利用いただけます。（ログインにはIDとパスワードが必要です）

▶ 教科書訂正に関するお知らせ

三省堂 中学国語 訂正 🔍

中学校国語『現代の国語』につきまして、訂正がございます。訂正箇所はウェブサイトに掲載しております。

ご使用の先生方や生徒の皆さまにご迷惑をおかけいたしますことを、深くお詫び申し上げます。なお、令和6年度の教科書は訂正したものを供給いたします。ご指導の際にはご注意くださいよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社 三省堂

〒102-8371 東京都千代田区麹町 5-7-2



ICT 実践事例紹介 公開中

教科書・教材サイト

<https://tb.sanseido.co.jp/>